

『線形代数 基礎と応用』(第1刷) 正誤表

訂正箇所	誤	正	訂正日
p.3 ↑6	基底の定義	基本ベクトルの定義	06/04/03
p.4 ↓1	N 次元縦ベクトルという.	N 次元縦ベクトル, または略してベクトルという.	07/03/07
p.8 ↓8	文末に追加: K をスカラー体という		08/04/22
p.15 例 1.6↓2	m	j	07/10/16
p.15 例 1.6↓3	$c(k)$	$c(j)$	07/10/16
p.15 例 1.6↓5-7	k	j (計 3 箇所)	07/10/16
p.18 ↓4	次章で	主に次章で	06/04/16
p.37 ↓3	ること, ならびに線形写像は	ることを前章でみたが, 本章では線形写像は	06/04/16
p.48 ↑8	2 倍を第 2 式から引き	-2 倍を第 2 式に加え	08/04/22
p.48 ↑7	2 倍を第 3 式から引く	-2 倍を第 3 式に加える	08/04/22
p.50	$-2R_1 + R_2$ を $R_2 - 2R_1$ に . $-2R_1 + R_3$ を $R_3 - 2R_1$ に . $2R_2 + R_3$ を $R_3 + 2R_2$ に . (それぞれ 2 箇所)		06/05/05
p.51	$-R_1 + R_3$ を $R_3 - R_1$ に . $-3R_2 + R_3$ を $R_3 - 2R_2$ に .		06/05/05
p.52 ↓13	$\alpha R_j + R_k$	$\alpha R_j + \beta R_k$	06/05/05
p.52 ↓14	第 k 行を	第 k 行の β 倍を	06/05/05
p.52 ↓16	$\alpha R_j + R_k$	$\alpha R_j + \alpha' R_k$	06/05/05
p.52 ↓16	$\beta R_j + R_k$	$\beta R_j + \beta' R_k$	06/05/05
p.52 ↓17	を第 k 行に	に第 k 行の α' 倍を	06/05/05
p.52 ↓17-18	を第 m 行に	に第 m 行の β' 倍を	06/05/05
p.56 ↑4	$R_2 - R_1$	$-R_1 + R_2$	08/04/22
p.56 ↑4	$R_3 + \frac{1}{2}R_2$	$\frac{1}{2}R_2 + R_2$	08/04/22
p.77 ↓9	x_n	x_N	08/04/22
p.132↑9,p.133↓5	I_{N_1}	I_r	06/06/17
p.142↓4	$\lambda_1 = \cdots = \lambda_s$	$\lambda_1 = \cdots = \lambda_s = 0$	06/12/18
p.144 ↑12	である	(\pm は復号同順とは限らない) である	06/12/04
p.162↓11	$r_{s1}\mathbf{w}_1 + \cdots + r_{ss}\mathbf{w}_s$	$r_{s1}\mathbf{v}_1 + \cdots + r_{s,s-1}\mathbf{v}_{s-1} + r_{ss}\mathbf{w}_s$	06/11/06
p.163↓ 5,↓10,↓13	式中の $\ \mathbf{v}_1\ , \ \mathbf{v}_2\ , \ \mathbf{v}_j\ , \ \mathbf{v}_{n-1}\ , \ \mathbf{v}_n\ $ を $\ \mathbf{v}_1\ ^2, \ \mathbf{v}_2\ ^2, \ \mathbf{v}_j\ ^2, \ \mathbf{v}_{n-1}\ ^2, \ \mathbf{v}_n\ ^2$ に直す		06/11/13
p.170 ↑6	$(N - s)$ (2 箇所)	$(N - r)$	06/06/17
p.178↓9	定理 10.28 の後に追加: $A \in K^{M \times N}$ とする .		07/03/09
p.183 ↓3	定理 9.9 と (1) より	定理 9.9 より	06/05/05
p.190 ↓2	(M, N)	階数 r の (M, N)	08/04/22
p.207 ↑7	正規直交基底	直交基底	06/12/04
p.217 ↑10	追加:以下本節では $K = C$ の場合を考える		08/04/22
p.218 定理 13.9(2)↓1	もし λ_j に関	もし λ_i に関	06/12/18
p.228 ↑4	$ T = \pm 1$	$ \det T = 1$	06/11/08
p.231↓8	文末に追加:(注:定理 13.23(後述),13.9,13.15 より正規行列もこの性質を持つ.)		06/12/18
p.233↓5	$\cdots \lambda_N$ を	$\cdots \lambda_N$ を係数体 K に属する	08/04/22
p.237↑2	追加: A は重複度も入れて N 個の K に属する固有値を持つとする.		08/04/22
p.243 ↓9	ならば	\Leftrightarrow	06/12/04
p.264↓8	g_{ij}	u_{ij}	08/04/22
p.285↓4	定理 15.8	定義 15.2	08/04/22
p.287↓1	\mathbf{x}'	\mathbf{y}	08/04/22
p.309 ↓12	$\mathbf{b} \in R^M$	$\mathbf{b} \in K^M$	07/03/09
p.333 ↓6	計算されている	通常計算する	06/08/06
p.345 ↑6	[OS]	[MSY]	06/04/03

p.349 ↓7	$\Pi^3 = (0, 0, 0, 1, 0, \dots, 0)$	$\Pi^3 = \text{circ}(0, 0, 0, 1, 0, \dots, 0)$	06/04/03
p.349 ↓8	$\Pi^{N-1} = (0, \dots, 0, 1)$	$\Pi^{N-1} = \text{circ}(0, \dots, 0, 1)$	06/04/03
p.364 ↓2	$y[k_j]$	$y[j]$	06/04/27
p.371 ↑13	$n = 1$	$n = 2$	06/04/27
p.396 ↑6	標準化	標準形	06/04/27
p.412 ↓12	例はみな	例 21.1, 例 21.2 は	06/10/06
p.425 ↑9	このとき	$K = \mathbf{R}$ のとき	06/04/27

(上記のうち読者の方々からご指摘いただいたものもあります。この場を借りて感謝申し上げます。)

次ページに続く。

p.245 ↑3 から p.246 ↓4 を以下と差し替える (06/4/3) :

$$\begin{aligned}
&= \sum_{j=1}^N \|x_j - \bar{x} - \langle x_j - \bar{x}, \mathbf{w} \rangle \mathbf{w} - \{\mathbf{a} - \bar{x} + \langle \bar{x}, \mathbf{w} \rangle \mathbf{w}\}\|^2 \\
&= \sum_{j=1}^N \|x_j - \bar{x} - \langle x_j - \bar{x}, \mathbf{w} \rangle \mathbf{w}\|^2 + \sum_{j=1}^N \|\mathbf{a} - \bar{x} + \langle \bar{x}, \mathbf{w} \rangle \mathbf{w}\|^2.
\end{aligned}$$

いま長さ 1 のベクトル \mathbf{w} を任意にとり固定する。 $\bar{x} - \langle \bar{x}, \mathbf{w} \rangle \mathbf{w} \neq \mathbf{0}$ の場合、これと \mathbf{w} は直交しているので $\mathbf{a} = s(\bar{x} - \langle \bar{x}, \mathbf{w} \rangle \mathbf{w})$ ($s \in \mathbf{R}$) が成り立ち、

$$\delta^2 = \sum_{j=1}^N \|x_j - \bar{x} - \langle x_j - \bar{x}, \mathbf{w} \rangle \mathbf{w}\|^2 + N(s-1)^2 \|\bar{x} - \langle \bar{x}, \mathbf{w} \rangle \mathbf{w}\|^2.$$

この条件下での δ^2 は $s = 1$ のとき、すなわち $\mathbf{a} = \bar{x} - \langle \bar{x}, \mathbf{w} \rangle \mathbf{w}$ のとき最小になり、 \bar{x} は問題の直線上にある。また $\bar{x} - \langle \bar{x}, \mathbf{w} \rangle \mathbf{w} = \mathbf{0}$ の場合は $\mathbf{a} = \mathbf{0}$ のとき δ^2 が最小になり、この場合も同様の結論が得られる。よって補題が証明された。■

図 10.1 を下記のものに差し替え¹

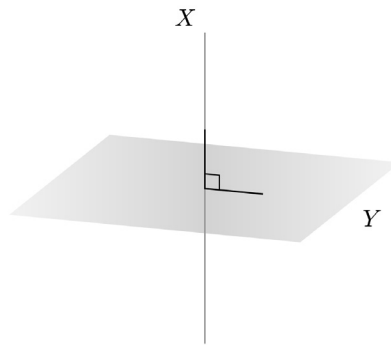


図10.1

¹読者の方からのご指摘を感謝します (2019/5/17).